

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	三浦市における安心・安全な下水道事業（防災・安全）											
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	三浦市											
計画の目標	（下水道処理場及びポンプ場の長寿命化対策事業を行い、老朽施設の延命化を行うことにより、市民が安心して暮らせる安全で良好な下水道の環境を創造する。） 下水道処理場及びポンプ場、管きょの長寿命化計画及びストックマネジメント計画を策定し、老朽施設の延命化を行うことにより、市民が安心して暮らせる安全で良好な下水道の環境を創造する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	466	A	466	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R2末)
1	処理場施設の改築・更新達成率を0.0%(H28)から2.0%(R2)に増加させる。	0%	1%	2%
	処理場施設の改築・更新達成率を0.0%(H28)から2.0%(R2)に増加させる。 改築・更新実施数/改築・更新実施計画数(393か所)			
2	ポンプ場施設の改築・更新達成率を0.0%(H28)から13.0%(R2)に増加させる。	0%	4%	13%
	ポンプ場施設の改築・更新達成率を0.0%(H28)から13.0%(R2)に増加させる。 改築・更新実施数/改築・更新実施計画数(69か所)			
3	管きょ施設のマンホール蓋、「性能不足・機能不足」の改築・更新達成率を0.0%(R2)から5.0%(R2)に増加させる。	0%	0%	5%
	管きょ施設のマンホール蓋、「性能不足・機能不足」の改築・更新達成率を0.0%(R2)から5.0%(R2)に増加させる。 改築・更新実施数/改築・更新実施計画数(1037基)			
4	管きょ施設のマンホールポンプ施設の改築・更新達成率を0.0%(R2)から21.4%(R2)に増加させる。	0%	0%	21%
	管きょ施設のマンホールポンプ施設の改築・更新達成率を0.0%(R2)から21.4%(R2)に増加させる。 改築・更新実施数/改築・更新実施計画数(14か所)			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	三浦市	直接	三浦市	終末処理場	改築	東部浄化センター監視制御設備改築更新	中央監視設備詳細設計	三浦市						7		策定済
	A07-002	下水道	一般	三浦市	直接	三浦市	終末処理場	改築	東部浄化センター監視制御設備改築更新	中央監視設備改築更新	三浦市						118		策定済
	A07-003	下水道	一般	三浦市	直接	三浦市	終末処理場	改築	東部浄化センター沈砂池設備改築更新	自動除塵機詳細設計	三浦市						4		策定済
A07-004	下水道	一般	三浦市	直接	三浦市	終末処理場	改築	東部浄化センター沈砂池設備改築更新	自動除塵機改築更新	三浦市						82		策定済	
A07-005	下水道	一般	三浦市	直接	三浦市	ポンプ場	改築	金田中継センター沈砂池設備改築更新	自動除塵機詳細設計等	三浦市						7		策定済	
A07-006	下水道	一般	三浦市	直接	三浦市	ポンプ場	改築	金田中継センター沈砂池設備改築更新	自動除塵機改築更新等	三浦市						125		策定済	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H28	H29	H30	H31	R02					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
下水道事業	A07-007	下水道	一般	三浦市	直接	三浦市	終末処理場	改築	東部浄化センター改築更新(ストックマネジメント計画)	東部浄化センター機械・電気 ・土木・建築改築更新	三浦市						29		策定済		
	A07-008	下水道	一般	三浦市	直接	三浦市	ポンプ場	改築	金田中継センター改築更新(ストックマネジメント計画)	金田中継センター電気・土木 ・建築改築更新	三浦市						29		策定済		
	A07-009	下水道	一般	三浦市	直接	三浦市	管渠(汚水)	改築	東部処理区管きょ改築更新(ストックマネジメント計画)	東部処理区管きょ(マンホールポンプ含む)改築更新	三浦市						65		策定済		
												小計						466			
												合計							466		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

三浦市上下水道部下水道課内での審議実施
学識経験者への意見聴取

事後評価の実施時期

令和5年3月

公表の方法

ホームページによる公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

【下水道施設の老朽化対策】

長寿命化計画及びストックマネジメント計画に基づき、計画的に老朽施設の改築更新を実施し、市民が安心して暮らせる安全で良好な下水道の環境創造を図った。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

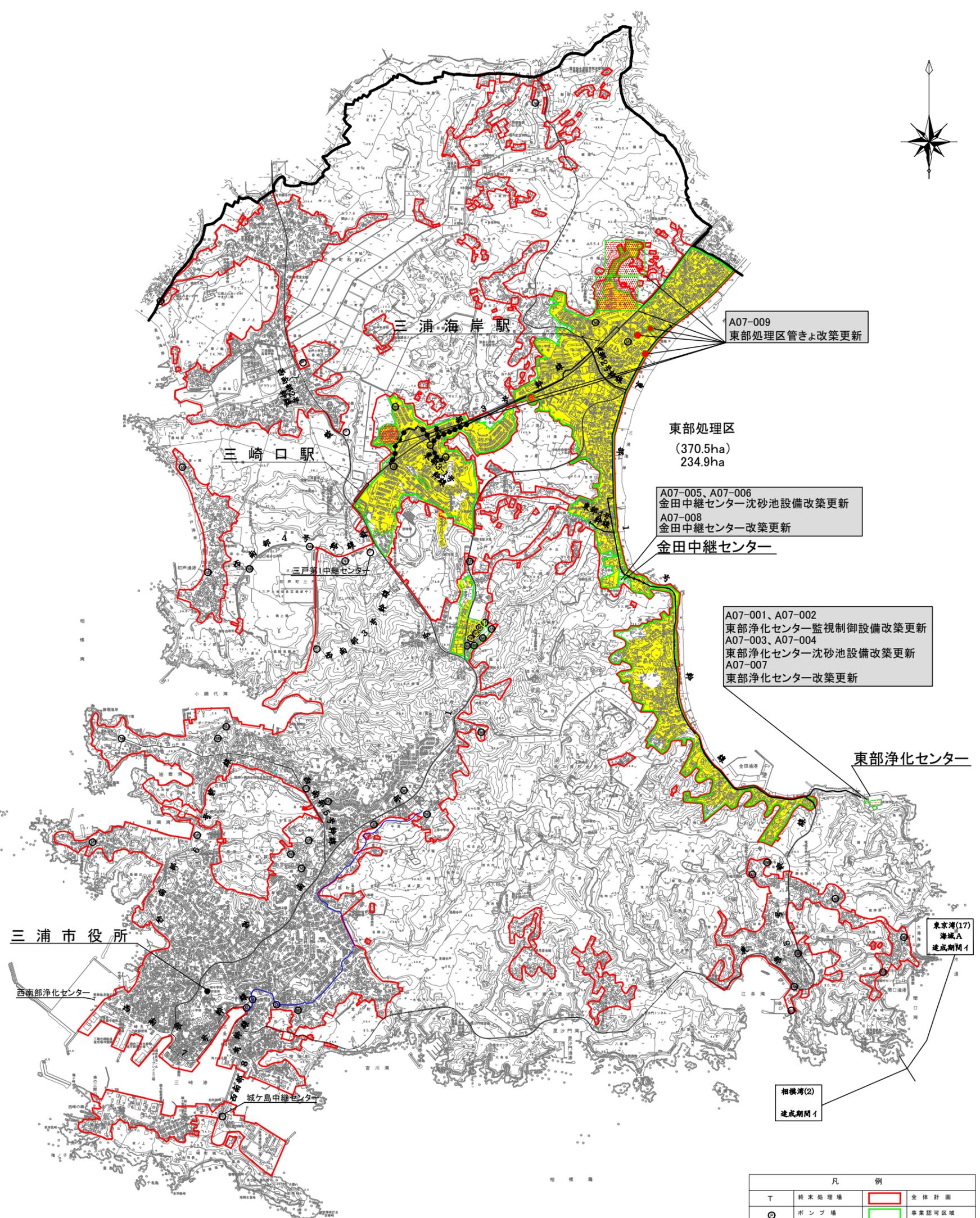
特記事項（今後の方針等）

【下水道施設の老朽化対策】

令和2年1月策定のストックマネジメント計画に基づき、下水道施設の施設の改築更新を図る。
ストックマネジメント計画は令和6年度に見直しを行い、下水道施設の安定した運用に寄与する。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	改築・更新実施数 / 改築・更新実施計画数（393箇所）	
	最終目標値	2% 効率的に事業の執行を行ったことから、最終目標値を同じ値となった。
2	最終実績値	2%
	改築・更新実施数 / 改築・更新実施計画数（69箇所）	
3	最終目標値	13% 効率的に事業の執行を行ったことから、最終目標値を同じ値となった。
	最終実績値	13%
4	改築・更新実施数 / 改築・更新実施計画数（1037箇所）	
	最終目標値	5% 住民からのマンホール蓋のがたつき音に対する苦情への早期対応、及び近接するマンホールについて一括で交換工事を行うことで効率化を図った結果、実績値が目標値を上回った。
5	最終実績値	7%
	改築・更新実施数 / 改築・更新実施計画数（14箇所）	
6	最終目標値	21% 効率的に事業の執行を行ったことから、最終目標値を同じ値となった。
	最終実績値	21%
7		

三浦市における安心・安全な下水道事業(防災・安全)



A07-009
東部処理区管きよ改築更新

東部処理区
(370.5ha)
234.9ha

A07-005、A07-006
金田中継センター沈砂池設備改築更新
A07-008
金田中継センター改築更新
金田中継センター

A07-001、A07-002
東部浄化センター監視制御設備改築更新
A07-003、A07-004
東部浄化センター沈砂池設備改築更新
A07-007
東部浄化センター改築更新

東部浄化センター

三浦市役所

西南部浄化センター

城ヶ島中継センター

東京湾(17)
海城A
達成期間1

相模湾(2)
達成期間1

凡 例			
T	終末処理場		全体計画
⊙	ポンプ場		事業認可区域
⊕	マンホール内ポンプ		既整備区域
	既設幹線		交付対象事業箇所
	国道・都道府県道		
	準用河川		
	鉄道		

三浦市の社会資本総合整備計画に対する事後評価について

三浦市社会資本総合整備計画の事後評価について下記のとおり確認しました。

記

1. 事後評価対象計画

社会資本整備総合交付金

「三浦市における循環のみちの実現（第二期）」（平成 28 年度～令和 2 年度）

「三浦市における循環のみちの実現（第二期）（重点計画）」（平成 30 年度～令和 2 年度）

防災・安全交付金

「三浦市の安心・安全な下水道事業」（平成 28 年度～令和 2 年度）

2. 事後評価内容について

この度、三浦市で作成された社会資本総合整備計画は、実施後の計画の成果目標（定量的指標）、定量的指標の定義・算定式、交付対象事業の進捗状況、事業効果の発現状況及び目標値の達成状況について妥当な内容で示されていることを確認しました。

3. 意見等

・普及率については計画通りに進捗しており、人口減少に伴う普及率の上昇がみられる。今後については、限られた予算の中でアクションプランに基づく未普及地域の解消を進めるために、引続き発生土利用の促進等による工事費の削減を行うとともに新工法等の採用を検討してみてはどうか。

・検討に時間を要したものの、令和 5 年度からはコンセッション方式の導入による事業運営の効率化が見込まれる点は評価できる。今後はモニタリングにより効率的な運営が実現できているかをよく確認していただきたい。

・ストックマネジメント計画に基づいて各施設の計画的な改築が行われている。今後も、コンセッション事業による民のノウハウの活用等により、効率的な計画策定や改築事業の実施を行い、安全な下水道の実現を図っていただきたい。

以上

令和 5 年 3 月 27 日

関東学院大学
准教授

鎌田 素之